内海ITU事務総局長

ジュネーブ便り

（2004年6月）

◎内海事務総局長から

西欧社会がいかに嫌らしいところか、その一端をまたもや見せ付けられました。

有り難いことに、情報社会サミットが大成功だったことはだれも否定できない事実です。しかし、今回の理事会では、西欧諸国が一致団結して、毎年春に開催されるITU理事会の開催を、チュニジアサミットの準備に忙殺される来年秋に開催すべきだと主張し、事務局がサミットの準備をできないよう企てました。幸いアジア、アフリカ、南米の支持を得て、彼らの企てを覆しました。

日本の国際化とは、サミットが重要だと主張している彼らが、実際はこのようなことを平気でやるのだということを知ることだと思います。

◎6月の事務総局長の主な動向

6月9～18日　ITU理事会

今年のITU理事会は予算審議がない年でしたが、WSISの開催後ということもあり、また大幅な職員削減を行った後でもあり、多くの議論がありました。年々、詳細な事項、いわゆるマイクロマネジメントにまで議論になる傾向があり、今回は50もの入力文書を事務局が用意せざるを得ませんでした。

・ITU改革

ITUの組織改革については、これまでも断続して議論されていて、民間企業の参加拡大、勧告などの手続の迅速化、政策的事項への取組など、いろいろと成果をあげてきました。現在では、ITU組織内部の詳細な運営に関する議論が多くなってきている傾向があります。また、一部の理事国が議論をリードしようとしている部分も見受けられます。今回は、組織内の情報システムの改善、予算案作成プロセスの改善を進めることがまとめられ、そのために少数の理事国で構成するグループも設置されました。来年の理事会では、この改善された予算案作成プロセスに沿って予算が審議されることとなります。

・WSIS

当初WSISのための予算がなく、また職員削減を断行している中でかなり無理をして開催したWSISでしたが、各理事国からは、参加レベルや世界からの注目度も高く、基本宣言、行動計画など成果もまとめられたことから成功だったと評価され、今後第1フェーズで採択された行動計画をITU及び加盟国が実施していくことがまとめられました。2005年の第2フェーズに向けて、引き続き必要な財源の確保に努めることと、ITUが他の国際機関や政府をリードしてWSIS準備を進めていくことも確認されました。

・インターネット

ENUM、ドメインネーム、IPネットワーク、ICANNとの連携、インターネットガバナンスなどこれまでITUが取り組んできた活動について確認され、WSISで議論となっている国連インターネットガバナンスワーキンググループ（WGIG）に対してITUも積極的に貢献することが確認されました。また、7月7日にWSISテーマ会合としてSpam対策ワークショップを開催することも確認されました。

・今後の会議スケジュール

次回のITU全権委員会議は2006年に予定されていたところ、西欧諸国が2007年まで延期すべきだと主張しました。どのような思わくで、この提案がなされたのか定かではないですが、他国からの支持が得られず次回全権委員会議の2006年開催が再確認されました。

また、西欧諸国は、昨年理事会の勧告（理事会の秋開催）を理由に、来年の理事会を2005年9月に開催するように提案しました。WSIS準備会合（Prepcom）が9月に予定されていることから他の理事国が反対しました。勧告の趣旨は、外部監査報告書を理事会に間に合わせるためであり、単純に秋開催にこだわるものではありません。外部監査報告書が7月に出来上がることが確認されていましたから、WSISの重要性を考慮した他の理事国が強く反対して7月開催となりました。

6月24～26日　WSIS第1回準備会合（ハマメット、チュニジア）

2005年のWSIS第2フェーズに向けた第1回準備会合（Prepcom）を、ハマメット（チュニジア）で開催しました。チュニジアについては、表現の自由が保障されていないなど一部の国や市民団体が非難していて、WSIS開催についても危ぶむ意見があります。そのような意見を払拭するためにも、今回、チュニジア政府は周到な準備を行い、同準備会合を無事に成功させ、他国からの信頼を得たかったものと思います。WSIS準備会合には、民間セクター、市民団体も参加できるのですが、特に市民団体にとってチュニジアまで出張することは大変だったようで、相対的に、チュニジアなどアフリカの市民団体の参加が多くなり、市民団体内部の調整が難しい場面もありました。

同準備会合では、第2フェーズでの検討の焦点として、①昨年採択された行動計画の実施、②デジタル・デバイド対策の財政メカニズムの検討、③インターネットガバナンスの検討をすることがまとまりました。また、2005年11月のWSISまでに、あと2回の準備会合（来年2月ごろと9月ごろ）の開催、各地域準備会合、テーマ会合などを開催することもまとめられました。

WSIS準備会合で、チュニジア通信大臣、スイス連邦通信庁長官と